

研究機関：広島大学

研究課題名 人工知能による小児歯科疾患診断補助法の開発

研究期間 2018年10月2日(倫理委員会承認後)～2028年3月31日

対象者

2011年4月から2021年9月の間に、広島大学病院小児歯科診療科で治療を受けられた患者さん。

意義・目的

歯は乳歯・永久歯ともに特徴的な成長発育をします。その過程では、歯の異常や顔の発育異常(以下、歯等の異常)が認められることがあります。原因の種類や発生の時期、部位は様々ですが、今後の成長発育を考慮して適切な治療を施す必要があります。このような疾患の中には、小児歯科医

であれば比較的容易に診断が可能である一方、一般歯科医師では診断・治療が困難な例があります。そこで本研究では、人工知能が歯等の異常の疑いのある症例の診断を補助し、小児歯科医への紹介を促すシステムを構築することを目的としています。

方法

本研究は、診療録(カルテ)情報とパノラマエックス線写真を調査して行います。